2024年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年１月30日

上場会社名　株式会社　Ｊストリーム　上場取引所　東
コード番号　4308　ＵＲＬ　http://www.stream.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）石松　俊雄
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　（氏名）竹見　嘉洋　ＴＥＬ　03-5765-7744

四半期報告書提出予定日　2024年２月２日　配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有

四半期決算説明会開催の有無　：　有　（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2024年３月期第３四半期の連結業績（2023年４月１日～2023年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第３四半期	8,493	△9.8	522	△61.4	542	△59.6	295	△64.3
2023年３月期第３四半期	9,413	△0.0	1,354	△18.5	1,341	△19.2	829	△21.0

（注）包括利益　2024年３月期第３四半期　342百万円（△61.3%）　2023年３月期第３四半期　885百万円（△20.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年３月期第３四半期	11.90	－
2023年３月期第３四半期	33.35	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年３月期第３四半期	12,446	10,852	83.6	418.54
2023年３月期	12,963	10,931	81.1	422.63

（参考）自己資本　2024年３月期第３四半期　10,407百万円　2023年３月期　10,509百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年３月期	－	0.00	－	16.00	16.00
2024年３月期	－	0.00	－		
2024年３月期（予想）				16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2024年３月期の連結業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,480	△8.2	516	△69.0	536	△67.6	219	△74.9	8.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

新規　－社　（社名）、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期３Ｑ	28,057,400株	2023年３月期	28,057,400株
②　期末自己株式数	2024年３月期３Ｑ	3,191,062株	2023年３月期	3,191,062株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期３Ｑ	24,866,338株	2023年３月期３Ｑ	24,866,338株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 5
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書 5
第３四半期連結累計期間 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（セグメント情報等） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済への新型コロナウイルス感染症の影響は、５月の５類移行に伴いおおむね正常化されました。しかしながら、世界的な政情の悪化、急速な円安の進行や資源価格の高騰に伴って物価高が顕在化しており、個人消費動向や企業収益における不確実性が高い状況となっております。インターネット業界においては、生成AIやそのビジネス利用が注目され、各種コンテンツ生成に加え、そのデジタルトランスフォーメーション（DX）における活用から関連市場が広がっております。

こうした環境下、当社グループは動画ソリューション事業において、各種イベントのインターネットライブ配信や、社内情報共有・教育等のオンデマンド動画配信ニーズに対応し、主力サービスである「ライブ中継サービス」や「J-Stream Equipmedia」、コンテンツ配信サービスに関連するシステム開発、運用受託等を中心に提供を進めました。

販売面においては、戦略市場を医薬業界のEVC（Enterprise Video Communication）領域、医薬以外の金融等各業種のEVC領域、放送・メディアコンテンツ業界を中心としたOTT領域、と３区分して営業活動を展開しました。

EVC領域（医薬）においては、主力となるWeb講演会用途のライブ配信や、イベント実施に伴う集客や諸手配といった領域において、薬価改定への対応や円安に伴う日本市場の相対的な地位低下等の要因から、注力の度合いがコロナ期対比で低下した状況が継続しております。過年度において繁忙期であった第３四半期連結会計期間においても需要の増加は相対的に小幅となりました。当社の主要顧客である企業においても、予算の制限からライブイベントの実施件数の絞り込みがある一方、より効果測定を重視する傾向、並びにマーケティング効果を重視した広告、集客に関する需要が高まる結果となりました。ライブ配信、関連するWeb制作、映像制作等のサービス全般を含めた本領域全体の売上は、製薬企業を主顧客とする連結子会社を含め、前年には及ばない結果となりました。

EVC領域（医薬以外）においては、新型コロナウイルス感染症の５類移行が引き続きあらゆる企業活動のリアル回帰を後押ししました。販売促進のためのウェブセミナーや、企業や団体内でのライブイベント等のスポット的利用については、第３四半期連結会計期間において大口の案件も見られましたが、期を通じては前年比低位に推移しました。これに伴い、ライブイベント実施やネットワーク流量に伴う売上も低調なものとなりました。同様の要因から、Web制作、映像制作等の需要も低水準となりました。各種情報の配信インフラとしての機能を持つ主力サービスである「J-Stream Equipmedia」や「J-Stream CDNext」等の、社内外情報共有や広報・採用用途での利用は比較的堅調に推移しました。

OTT領域においては、放送業界におけるシステム開発、サイト運用や関連するWEB制作業務、配信ネットワーク売上が中心となりました。コロナ環境下での巣ごもり消費で根付いたネット視聴習慣や、視聴端末、動画配信サービスの普及を背景に、同領域におけるサービス開発には引き続き高い需要があります。当社グループにおいては、放送局のネット配信サービスメニューの拡充に伴うシステム開発や、前年度において大口のコンテンツ配信システム開発納品があった専門チャンネル事業者に対する運用サービス提供が継続的な売上要因となっており、この領域全体の売上は堅調に推移しました。

費用面においては、売上連動で外注費が減少しました。足元の営業見通しを鑑み、採用計画を抑制したほか、その他の経費についても大幅な見直しを実施しました。累計では開発人員の増加から労務費は増加しましたが、売上原価は前年同期を下回る水準となりました。販売費及び一般管理費についても節減を進めておりますが、販売促進のための営業支援にかかる費用が増加していることから、累計では前年同期比２％程度の増加となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、連結売上高8,493百万円（前年同期比9.8％減）、連結営業利益522百万円（前年同期比61.4％減）、連結経常利益542百万円（前年同期比59.6％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益295百万円（前年同期比64.3％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は9,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,004百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払及び子会社株式取得に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は2,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ486百万円増加いたしました。これは主にのれんの増加及びソフトウエアの取得等によるものであります。

この結果、総資産は12,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ517百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は1,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ354百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は129百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ439百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は10,852百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払により397百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益295百万円を計上したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、期中の業績動向を踏まえ、2023年10月26日に通期連結業績予想を修正いたしました。第３四半期連結会計期間において、売上についてはおおむね計画修正時の想定の実績を上げることができました。一方、利益面については、ライブ案件等の原価が想定より低い水準まで絞り込めたこと及び採用活動・販売促進活動等各種企業活動の縮小により経費圧縮が図れたこともあり、想定以上の実績を上げることができました。これに伴い営業利益、経常利益、当期純利益については通期連結業績予想を達成する水準となりました。

第４四半期連結会計期間においては、売上は特に１、２月が医薬業種の閑散期にあたること、またコロナ後の環境下において３月期末の各社のWeb関連施策への注力度が不透明であることから、楽観はできないと認識しております。また、利益、費用については、

・これまで準備を進めているマーケティング施策の実施により来期以降への足掛かりとすること

・サービス強化の為の研究開発及び市場調査等

等を実施することで、相当額の一時費用計上を予定しております。これらの要因から通期連結業績予想についてはそのままとさせて頂きます。

なお、配当予想につきましても、変更は行いません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,051,030	3,804,738
受取手形、売掛金及び契約資産	2,212,228	2,210,116
仕掛品	118,080	137,942
預け金	2,800,000	2,800,000
その他	380,859	605,368
貸倒引当金	△1,059	△1,055
流動資産合計	10,561,138	9,557,110
固定資産		
有形固定資産	543,149	475,460
無形固定資産		
のれん	143,459	527,680
ソフトウエア	1,223,325	1,402,181
その他	7,036	6,788
無形固定資産合計	1,373,821	1,936,650
投資その他の資産		
投資有価証券	4,311	4,645
繰延税金資産	178,653	173,691
その他	310,857	306,020
貸倒引当金	△7,939	△7,477
投資その他の資産合計	485,882	476,880
固定資産合計	2,402,853	2,888,991
資産合計	12,963,992	12,446,101
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,125	11,070
１年内返済予定の長期借入金	－	1,625
未払金	735,930	583,737
未払法人税等	291,083	11,834
賞与引当金	124,484	47,378
資産除去債務	－	32,568
その他	653,277	775,942
流動負債合計	1,818,902	1,464,156
固定負債		
長期借入金	－	6,000
退職給付に係る負債	19,886	14,679
資産除去債務	96,696	62,672
その他	97,239	46,182
固定負債合計	213,822	129,533
負債合計	2,032,725	1,593,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	3,899,515	3,899,515
利益剰余金	4,732,971	4,631,011
自己株式	△306,115	△306,115
株主資本合計	10,508,751	10,406,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	662
その他の包括利益累計額合計	430	662
非支配株主持分	422,084	444,957
純資産合計	10,931,266	10,852,411
負債純資産合計	12,963,992	12,446,101

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年12月31日）
売上高	9,413,775	8,493,777
売上原価	5,557,428	5,415,842
売上総利益	3,856,347	3,077,935
販売費及び一般管理費	2,502,143	2,555,546
営業利益	1,354,204	522,388
営業外収益		
受取利息	7,434	12,071
違約金収入	1,398	5,928
その他	4,002	6,993
営業外収益合計	12,834	24,992
営業外費用		
支払利息	2,682	1,577
支払保証料	1,327	2,117
為替差損	19,170	1,046
その他	1,895	247
営業外費用合計	25,075	4,989
経常利益	1,341,963	542,392
特別損失		
固定資産除却損	0	139
特別損失合計	0	139
税金等調整前四半期純利益	1,341,962	542,252
法人税、住民税及び事業税	432,411	195,176
法人税等調整額	24,067	4,859
法人税等合計	456,479	200,035
四半期純利益	885,483	342,216
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,270	46,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	829,212	295,900

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年12月31日）
四半期純利益	885,483	342,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	231
その他の包括利益合計	206	231
四半期包括利益	885,689	342,448
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	829,418	296,132
非支配株主に係る四半期包括利益	56,270	46,316

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。